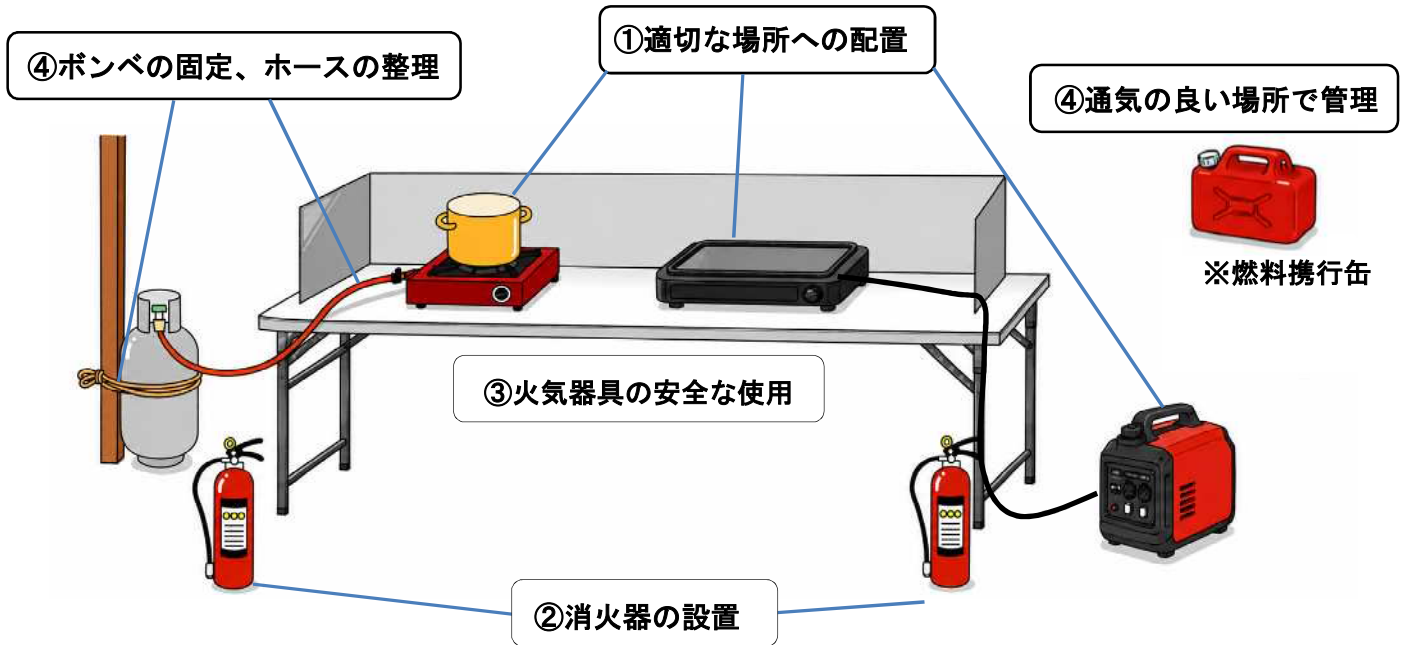


露店等を出店される皆さまへ

【露店出店時の遵守事項と安全対策】

※露店等...屋台、テントおよびキッチンカーなどの店舗



① 露店等の開設場所、火気器具等の配置の確認

- ・露店等の開設場所は、客席から十分な距離を確保してください。
- ・火気器具は、客席や可燃物、燃料等から十分な距離を確保して設置してください。
- ・露店周辺は整理整頓を徹底し、安全な動線を確保して転倒や接触事故を防止してください。

② 消火器の設置

- ・原則、火気器具ごとに適正な消火器（10型を推奨）を設置し、事前に点検してください。
- ・万が一に備え、すぐ使用できる場所に配置してください。

③ 火気器具の安全な使用の徹底

- ・火気器具は安定した不燃性の台の上で使用し、可燃物を近づけないでください。
- ・使用中は目を離さず、異常を感じたときは直ちに使用を中止してください。
- ・火気器具に比べてサイズの大きすぎる鉄板・鍋などの使用や、ガスコンロで炭へ直接着火するなどの危険な使用は行わないでください。
- ・使用後の炭や薪は放置せず、使用後は水に浸すなどして完全に消火してください。

④ 燃料（ガスボンベ・ガソリン携行缶）の管理

- ・プロパンガスボンベは転倒防止措置を講じ、40℃以下で管理してください。
- ・ガソリン携行缶は、直射日光や熱を避け、通気の良い場所で保管してください。
- ・発電機に給油する際は、必ず発電機を停止し、安全な場所でガソリン携行缶の空気抜きネジをゆるめ、缶内の圧力を抜いてください。



火災実験動画
(カセットコンロ)

火気器具の不適切な使用例

神戸市内においても、コンロの炎が付近の物品に燃え移った事案や、カセットボンベが爆発するなどの火災が発生しています。

以下に示すような誤った使用法は、火災や爆発につながる危険性が高く、重大な事故を引き起こすおそれがあります。正しい使用法を守り、安全に取り扱ってください。

※写真はAIにより作成したイメージです。



火気器具の下に布やビニールクロス、段ボールなどの可燃物を敷かない。



火気器具の近くにごみ袋を設置しない。鋳物(いもの)コンロをテーブル上に直接置かない。



テントは風で煽られないよう完全に固定する。風よけとして可燃物を設置しない。



複数台のカセットコンロの並列使用や、サイズに合わない大きな鉄板・鍋などの加熱はしない。



カセットコンロで炭に直接着火しない。
(網を使用する場合を含む)



バーベキュー台の中でカセットコンロを使用しない。(輻射熱と熱伝導による爆発の危険性あり)



自主点検シート

※スマートフォンでも確認できます

項目	チェック欄
1 露店等の開設場所・火気器具の配置	
・露店の開設場所は、客席から十分な距離を確保しているか。	
・火気器具は、客席や可燃物、燃料等から十分な距離を確保して設置しているか。	
・露店周辺は整理整頓を徹底し、安全な動線を確保して、転倒や接触事故を防止しているか。	
2 消火器の準備	
・原則として、火気器具ごとに消火器を設置しているか(推奨：10型、エアゾール式は不可)。	
・消火器本体に腐食や変形等の破損がなく、安全ピンが正常な状態であるか。	
・指示圧力計の指針が、緑色の範囲内にあるか(蓄圧式消火器のみ)。	
・紐等で固定せず、容易に持ち出して使用できる場所に設置しているか。	
3 火気器具の使用(全般的)	
・安定した不燃性の台の上で使用し、周囲に可燃物(風よけを含む)を置いていないか。	
・火気器具は、客席や可燃物、燃料等から十分な距離を確保して設置しているか。	
・壁体等とは十分な安全距離を確保しているか(ガスコンロの場合は15cm以上)。	
・使用中は、火気器具から目を離さないよう徹底しているか。	
カセットコンロ	
・複数台を並べる、大きすぎる鉄板や鍋を使用するなどの危険な使用方法をしていないか。	
・コンロの下に可燃物(布・ビニールクロス・段ボール等)を敷いていないか。	
・コンロの周囲にごみ袋を設置していないか。	
LPガス設備	
・ゴムホースに破損や劣化がなく、接続部がホースバンドで確実に固定されているか。	
・ゴムホースが足に引っ掛からないよう、人の導線上に設置しないなどの配慮をしているか。	
・ボンベは転倒防止措置を講じ、直射日光や熱を避け、40℃以下となるよう管理しているか。	
炭・薪(まき)等	
・使用後は水に浸すなどして完全に消火しているか(自然に消えるまで放置していないか)。	
暖房器具	
・可燃物との距離を十分に保ち、使用中は目を離さないよう徹底しているか。	
・運転中の給油は絶対に行わず、必ず機器を停止したうえで給油しているか。	
携帯発電機	
・排気は高温となるため、燃料や可燃物の近くで使用していないか。	
・燃料補給時は、必ず携帯発電機を停止し、人や火気のない場所で行っているか。	
4 燃料携行缶	
・法令適合品を使用し、火気・高温・直射日光を避け、通気の良い場所で保管しているか。	
・地面に直接設置しているか(布や木などの絶縁体上に置くと、静電気が滞留して危険)。	
・空気抜きネジは、通常時「全閉」となっているか。	
・燃料補給時は、安全な場所で給油前に空気抜きネジを緩めて、缶内の圧力を抜いているか。	
5 放火防止対策等	
・ボンベや資材等を露店周辺に放置していないか。営業終了時は、すべて撤収しているか。	